

読書の愉しみ 第1回 「時代小説と歴史小説・書き方の違い」



読書の愉しみ 第2回 「読みかき、食いしん坊」



イベント 終了しました

読書の愉しみ 第3回 「読書の技法」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>本のプロフェッショナルより、それぞれの読書習慣や、本を読むことの醍醐味を披瀝いただく全3回講座。</p> <p>読書は簡単と言えば簡単で、誰にでもできます。しかし、読み方は決して一通りではありません。ひとつのテキストにも色々な読み方があり、時に表面の意味を超えた、とても深い世界を垣間みることもできます。第3回は『知の技法』編者である小林康夫氏を講師にお招きし、文学をより愉しむための技法を、日本近代文学の小説を例にとって考えます。ストーリーを追うだけではない、小説世界の不思議を愉しむための技法への招待です。</p> <p>※千代田区民の方は住所が確認できるものをお持ちください</p>
日にち	2015年03月26日（木） 18:30から20:00
日にち説明	当日の受付開始 18:00～

場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（申込順）
参加費用	500円（千代田区民・学生無料）

講師・出演者	小林康夫
プロフィール	<p>■小林 康夫（こばやし やすお） 1974年東京大学教養学部卒業後、同大学院人文系比較文学比較文化専攻修士修了。パリ第10大学テクスト記号学科博士号取得。現在、東京大学大学院総合文化研究科教授。専門は、表象文化論、現代哲学、フランス現代文学、現代思想。東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学研究センター」（UTCP）拠点リーダー。2002年フランス政府・学術教育功労賞シュヴァリエ受賞。著書に『不可能なものへの権利』、『無の透視法』、『起源と根源など、編著書に『知の技法』『知の論理』『知のモラル』などがある。 最新著は、昨年出版された、社会学者の大澤真幸氏との対談による『「知の技法」入門』（河出書房新社）。</p>

主催	公益財団法人上廣倫理財団
共催	千代田区立日比谷図書文化館


問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館(03-3502-3340)
申込期間	2015年01月11日 10:00 から2015年03月26日 18:30
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2015年 03月						
	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

発信日

2015.01.11

 印刷

 リストに追加

[ツイート](#)